

質問 障害者の自立を促すための、親亡き後に障害者が自らの力で生活ができるような場が多く求められている。①市内に就労継続支援A型事業所の設置を。②令和5年度より実施している地域開拓促進コーディネーターの活動状況は。

答弁 ①事業者へ設置を要望しているが開設に至っていない。②職場開拓や雇用に関する企業への助言等を行ったもので理解している。行っており、6人の新規雇用につながっている。引き続き新規事業の開拓や就職後の相談、助言等を実施し障害者雇用の促進に努めていく。

質問 昭島駅北口周辺の開発事業について、最新の事



自由民主党昭島市議団 小林こうじ 議員

障がい者支援の取り組みや現状について

答弁 ①事業者へ設置を要望しているが開設に至っていない。②職場開拓や雇用に関する企業への助言等を行ったもので理解している。行っており、6人の新規雇用につながっている。引き続き新規事業の開拓や就職後の相談、助言等を実施し障害者雇用の促進に努めていく。

答弁 ハラスメント対応研修の実施や庁舎内の通話録音を開始している。今後、新たにクレーム・不当要求

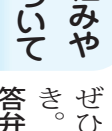


公明党昭島市議団 吉野智之 議員

昭島市の表彰制度について

答弁 市制施行70周年を契機とし、市の発展に貢献してきた人々を顕彰するために昭島市名誉市民条例を制定することについて、これまでの表彰制度の取り組みを含め、考えは。

答弁 市の政治、経済、文化、社会、その他各般にわたって市政振興に寄与し、また市民の模範となる行為があった方を毎年度表彰している。市制施行70周年も一つの契機とし、引き続き名誉市民制度の在り方について総合的に検討していく。②市が保有する公共施設等総合管理計画における個別施設計画の現状を調査した上で、①現在の進捗状況と今後の取り組みは。②デジタルデバイドの解消について、①初級・中



自由民主党昭島市議団 小林こうじ 議員

障がい者支援の取り組みや現状について

答弁 ①事業者へ設置を要望しているが開設に至っていない。②職場開拓や雇用に関する企業への助言等を行ったもので理解している。行っており、6人の新規雇用につながっている。引き続き新規事業の開拓や就職後の相談、助言等を実施し障害者雇用の促進に努めていく。

答弁 ハラスメント対応研修の実施や庁舎内の通話録音を開始している。今後、新たにクレーム・不当要求

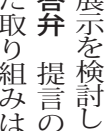


公明党昭島市議団 吉野智之 議員

昭島市の表彰制度について

答弁 市制施行70周年を契機とし、市の発展に貢献してきた人々を顕彰するために昭島市名誉市民条例を制定することについて、これまでの表彰制度の取り組みを含め、考えは。

答弁 市の政治、経済、文化、社会、その他各般にわたって市政振興に寄与し、また市民の模範となる行為があった方を毎年度表彰している。市制施行70周年も一つの契機とし、引き続き名誉市民制度の在り方について総合的に検討していく。②市が保有する公共施設等総合管理計画における個別施設計画の現状を調査した上で、①現在の進捗状況と今後の取り組みは。②デジタルデバイドの解消について、①初級・中



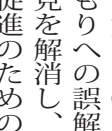
自由民主党昭島市議団 木崎親一 議員

八高線多摩川列車転覆事故から80年を迎えるについて

答弁 八高線多摩川列車転覆事故から80年を迎えるにあたり、その教訓を後世に残すことが大切と考える。事故を風化させない取り組みとして、小学校の副読本への記載やアキシマエンシス等での写真等の展示を検討しては。

答弁 提言のあった取り組みは今後の検討課題とするが、凄惨な事故を決して風化させることなく、後世にしっかりと伝えていきたいと考える。

質問 小学校の学校司書等



自由民主党昭島市議団 木崎親一 議員

八高線多摩川列車転覆事故から80年を迎えるについて

答弁 八高線多摩川列車転覆事故から80年を迎えるにあたり、その教訓を後世に残すことが大切と考える。事故を風化させない取り組みとして、小学校の副読本への記載やアキシマエンシス等での写真等の展示を検討しては。

答弁 提言のあった取り組みは今後の検討課題とするが、凄惨な事故を決して風化させることなく、後世にしっかりと伝えていきたいと考える。

質問 小学校の学校司書等



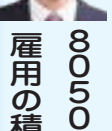
自由民主党昭島市議団 木崎親一 議員

八高線多摩川列車転覆事故から80年を迎えるについて

答弁 八高線多摩川列車転覆事故から80年を迎えるにあたり、その教訓を後世に残すことが大切と考える。事故を風化させない取り組みとして、小学校の副読本への記載やアキシマエンシス等での写真等の展示を検討しては。

答弁 提言のあった取り組みは今後の検討課題とするが、凄惨な事故を決して風化させることなく、後世にしっかりと伝えていきたいと考える。

質問 小学校の学校司書等



自由民主党昭島市議団 木崎親一 議員

八高線多摩川列車転覆事故から80年を迎えるについて

答弁 八高線多摩川列車転覆事故から80年を迎えるにあたり、その教訓を後世に残すことが大切と考える。事故を風化させない取り組みとして、小学校の副読本への記載やアキシマエンシス等での写真等の展示を検討しては。

答弁 提言のあった取り組みは今後の検討課題とするが、凄惨な事故を決して風化させることなく、後世にしっかりと伝えていきたいと考える。

質問 小学校の学校司書等

令和5年度政務活動費収支報告								
(単位:円)								
会派名	自由民主党昭島市議団	公明党昭島市議団	日本共産党昭島市議団	都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団	みらいネットワーク	無会派		
会派の議員数(人)	6	5	3	3	2	1	1	1
交付額	1,320,000	1,100,000	660,000	660,000	440,000	220,000	220,000	220,000
支出額	960,959	1,048,821	573,531	663,325	356,478	226,186	239,715	57,735
(内訳)	調査研究費	783,651	874,310		187,029	2,142		
	研修費		4,424		16,800	214,804	48,350	
	広報費			549,890	437,599			
	広聴費	260	147	1,459	481			
	要請・陳情活動費	7,360	8,694					
	会議費							
	資料作成費	169,688	78,256	12,540	21,897	39,236	83,115	44,284
	資料購入費		82,990	9,642		306,761	9,240	108,250
人件費								
事務所費								
返還額(交付額-支出額)	359,041	51,179	86,469	—	83,522	—	—	162,265